

枚方校区だより  
**ふれあい** 第85号  
 枚方校区コミュニティ協議会 広報部 2020年(令和2年)7月発行  
<https://www.hirakata-koku-dayori.com/>

### マスクの手作り

マスクが古薄になった時に、はぎれや浴衣の布地、手編みなどで始めました。宮城さん(写真)のほか、多数の方に協力していただきました。

## ステイホーム

新型コロナウイルス感染拡大予防措置として、学校が休校になりました。子どもたちは約3か月間外出を控えおうちで生活を送りました。

集中して勉強中

「レゴに夢中」「自分たちの基地」

おうちでなにしていた？

- ・宿題してからYouTube見たり、ゲームしてた。(小1・男子)
- ・図書カード(大阪府より配布)で本を買ってもらい読書してた。(小2・女子)
- ・弟と(小1)レゴでよく遊んだり、宿題してた。(小4・女子)
- ・ゲームもしたけど、ラジオを聞きながら勉強してた。ラジオでニュース聞いたら、コロナの事が詳しくわかった。(小5・女子)
- ・家にいるのは苦ではなかった。ゲームや勉強など自分で時間を決めてすることを覚えた。(小6・女子)
- ・遊びはレゴ、読書や勉強もしてた。運動は縄跳び。(小6・男子)

## 学校再開 笑顔とともに

6月1日(月)から2週間の分散登校が始まり、15日(月)からは通常授業開始になりました。子ども達の元気な姿を待ち望んでいましたが、この日は朝からとても暑く、さらにマスク着用のせいか少々お疲れ気味の様子でした。ただ、友達の顔を見ると笑顔で走り出したりといった風景がみられました。

## 防災の基本は自助・共助・公助

枚方校区の皆さまには平素より自主防災活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度より校区自主防災会は新体制でスタートします。23の自治会をそれぞれ想定される災害に合わせて大きく3つのグループに分け、各グループで連携しながら具体的な防災対策について話し合っていきたいと思っております。

防災の基本は自助・共助・公助です。まずは自助として、個人の防災意識を高めていただき、ライフラインの停止などに備えて各家庭での備蓄などを充実させてくださるようお願いいたします。自主防災会としては、そのために必要な情報提供をどんどん発信していこうと考えています。

共助を担う自主防災会では、災害時における地域の見回り(安否確認)、救助活動、避難所の設営などをスムーズに行えるような体制を整えていきたいと思っております。公助が来るまでの間、地域で助け合っ一つでも多くの命を守ることができるように、平時からいろいろな想定をして災害に備えることが重要です。

避難所には老若男女さまざまの方が集まります。少しでも快適に過ごせる避難所を運営するためのルール作りなども進めていきたいと思っております。

まだまだ手探り状態でのスタートではありますが、これからも引き続き地域皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



自主防災会 事務局長  
村田 美恵子

### 新しい生活様式で感染対策予防を

- ① 身体的距離の確保 (2m)
- ② マスクの着用! (症状がなくても着用)
- ③ 手洗いは30秒程度 (二まゆ換見もネ!)
- ④ 帰省や旅行はひかめ! (オンラインの活用!)
- ⑤ 買い物は1人非は1人数2 (お買い物の時間!)
- ⑥ 発症時の為、誰とどこぞ会、おが (カエ朗君)
- ⑦ 食事は持ち帰り (お弁当)
- ⑧ 公園はあつた時間場所を (3層x)
- ⑨ 発熱の際には (お電話を!)

作:みどり新聞(枚方市地域包括支援センター みどり)

# 地域の学校より



枚方小学校校長 北脇 宣至

枚方校区の皆様には、日ごろから本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

今春、新型コロナウイルス感染症のため、臨時休業の措置をとっていましたが、ようやく6月15日より教育活動を再開するに至りました。再開後すぐに通常の学校生活を取り戻せる状況ではありませんが、十分な感染症対策を行うなかで、一步一步、教育活動を進めています。

今回の臨時休業では、学校として学習の遅れが一番の課題ですが、実は、子どもたちの体力や心の変化も大きな課題として受け止めています。また、このコロナ禍の中でいじめを起こしては絶対にいけないとも思います。感染された方やその家族、社会を支え働く人やその家族への偏見につながらないように、学校はもちろん、地域や家庭の中でも、大人が子どもたちに正しいことを伝えなければならぬと考えます。

また、小学校の本年度の大きな課題として新学習指導要領の全面実施もあげられます。高学年では教科として週2時間の外国語の授業を、中学年では週1時間の外国語活動を実施します。他にも、年間授業時数の増加、育成すべき資質・能力の新しい設定等、大きく学校の教育が変わります。小学校はあと2年で創立150年目を迎えますが、歴史と伝統を感じながら、新しい教育課程のなかで、子どもたちの未来を拓く「学び」を大切にしたい学校を目指したいと思っております。

今後とも、本校教育活動へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



枚方中学校校長 山寄 剛史

「アンサンブ・ヒーロー (unsung hero) である地域の皆様方へ」

この4月から枚方中学校の校長となりました山寄剛史です。どうかよろしくお願いいたします。

英語でアンサンブ・ヒーロー(unsung hero)と呼ばれる人々があります。それは、次のような人々です。

ある村人が道を歩いていると、堤防に小さな穴を見つけた。何気なくその穴に小石を詰め込んで塞いだ。その穴は放置しておく、次の大雨のときにそこから堤防が決壊して、村を濁流で押し流すはずの穴だった。でも、穴が塞がれたため、大災害は未然に防がれ、村は無事だった。この場合、穴を塞いだ人の功績は誰にも知られることはありません。本人も自分が村の危機を救ったことを知らない。だから、誰かから褒め称えられることはないが村を救ったまことの英雄です。こういう顕彰されることのない英雄をアンサンブ・ヒーロー(unsung hero)と呼びます。

しかし、「何気なく穴を塞いだ」と書きましたが、何も考えなかったわけではありません。本人は当然のことと考えたので「何気なく」ですが、日頃から村や村人のことを思う公共心、変化に気づく敏感さ・警戒心、やるべきことはやらなければならないという義務感や良心がなければ、穴はそのままにされて災禍が村を襲ったでしょう。こうしたアンサンブ・ヒーローたちの報われることのない努力によって私たちの社会はかろうじて成立し、安寧を保っているのだと思います。私は、このことを内田樹という人の文章で知りました。

枚方中学校の生徒たちも枚方中学校校区のアンサンブ・ヒーローである皆様に支えられています。生徒とすれ違う際に挨拶をしていただいている皆様、体育祭・文化祭等にお越しいただき生徒に声援を送ってくださる皆様、何かと中学校にお気遣いをしていただいている皆様、校長として、本当に感謝しています。

教育の目標は、未来の日本社会を担うことのできる自立し主体的な市民を育成することであり、中学生を応援して下さる地域の皆様の姿が、中学生たちにとって生きた手本となっているでしょう。とても心強いことです。

これからも、地域の子どもたちをどうかよろしくお願いいたします。

# コミュニティ協議会 新体制発足



コミュニティ協議会会長 茨木 昭雄

六月に入り「お早うございます。いつてきます」と声をはずませて枚方小学校の児童が、登校していきまます。新しい制服です。今後二年間役員一同心を一つにして枚方校区の絆づくり・地域づくりに邁進していきまますので、皆様方もご支援ご協力の程宜しくお願い致します。最後にになりますが、コロナウイルス感染拡大防止の為にマスクをさげますと、熱中症にかかり易くなりますので、くれぐれも注意されまして、健康で楽しい生活を送って頂きますようお願い致します。会長就任の挨拶といたします。

少し恥ずかしそうに挨拶をしてくれる枚中の一年生の生徒たちの姿と日常生活が少しずつ戻りつつあります。皆様は如何お過ごしでしょうか。私たち枚方コミュニティ協議会も新たな役員で、思いも新たに活動を開始いたします。今年度は、コロナウイルスによる自粛のため、皆様が楽しみにされていた、春の歩こう会や河内西国三十三か所観世音めぐり、枚中ふれ愛まつり等が中止となりました。また、

令和2年度枚方校区コミュニティ協議会役員	
役職名	氏名
会長	茨木 昭雄
副会長	松尾 政夫
副会長	室田 二郎
副会長	松尾 克司
書記	田中 管子
会計	田村 亜紀子
福祉部長	室田 博子
青少年部長	沖中 智子
広報部長	山口 恵美子
校区自主防災会会長	茨木 昭雄
区民体育祭特別委員会	室田 二郎
にぎわい特別委員会	茨木 昭雄
会計監査	金森 泰孝
会計監査	片山 治男

# 枚方幼稚園より



枚方幼稚園園長 倉増 智秋

枚方校区コミュニティの皆様、今年度、枚方市立枚方幼稚園長として再びお世話になります倉増です。懐かしい方々に「お帰り」とお声かけいただく度に、大好きな枚方幼稚園に帰ってきたことを実感させていただいております。2年ぶりに出会う子どもたちは、見違えるようにたくましく成長した上に、変わらない笑顔で小学校やお家の話を聞かせてくれます。これも、地域の皆様に温かく支えていただいたおかげと感慨深い日々を送っているところです。

令和2年度の幼稚園は緊急事態宣言を受けて4月8日から休園をし、6月1日から分散登園が始まりました。2ヶ月以上、家庭で過ごしてきた子どもたちが少しずつ集団生活に慣れていけるよう、安全面、衛生面、体調管理にも十分配慮しながら、例年のように友達と一緒に豊かな経験を積みあげることが難しい中ではありますが、楽しい遊び環境づくりに努めています。特に衛生面においては隣接しておりますひらかた小規模保育施設から消毒方法や手洗い指導方法など教えていただき、感染者を出さないための最大限の配慮をしているところです。今後、未就園児親子への子育て支援においては地域の皆様とも連携をさせていただきながら、枚方校区の就学前の子どもたちが未来へ明るい夢を持ち続け、生き生きとした毎日を過ごしていけるよう、教職員一同、微力ではありますが励んでまいりますので、変わらぬご指導、ご支援いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。